

親子で考える「救急・防災」

皆さんは救急や防災について、普段、親子で話し合っていますか？
緊急時にどうしたら良いのだろうか？普段からどんな備えをしておいたら良いのだろうか？漠然と考える事はあたり不安に思っていたりしても、中々具体的な話はされていないご家庭が多いのではないのでしょうか。

川崎消防署予防課消防装備担当係長の松尾求さんにお話を伺ってみました。ぜひ、親子で考えるきっかけにしてみてください。



川崎消防署 予防課
消防装備担当係長 松尾求さん

◆救急について◆

まずは救急についてお聞かせください。119番通報される子どもの事故や病気、どんな原因が多いのでしょうか？

実は、小学生くらいの子どもの搬送されるケースはあまりありません。データの見た目も子どもが搬送されるケースは多くありません。そうなんです。ちよつと意外です。そんな少ない中でも搬送される原因として多く見られるのはありますか？

子どもが救急搬送される原因として一番多いのは乳幼児の熱性痙攣です。小中学生ですと、夏場の熱中症、大きな怪我、アレルギーによるアナフィラキシーショックなどの搬送があります。

では、救急車の年間の出動件数はどれくらいでしょうか？

平成26年度の一年間の川崎市全体のデータで64897件です。その内、急病42975件、一般負傷(怪我)9670件、交通事故4268件、その他7984件です。その他は転院、出動したが救急搬送の必要がなかった、悪戯による通報などもあります。

◆消防出動について◆

次に消防についてお伺いします。出火原因として多いものは何でしょうか？

これは昔から変わらないのですが、火災の原因として一番多いのは放火です。

怖い話ですが、放火が多いのは川崎だけではなく全国的に、ですか？

はい、全国的にみても放火が多いです。その次にコンロ火災(家庭もお店も)、タバコ(寝タバコ)と続きます。

喫煙者は注意していただきたいですね。では、時期や時間帯によって出火原因の違いがありますか？

時期による違いは特にありません。時間帯ですが、コンロ火災に関しては火を使う時間帯や、火を使ったまま消し忘れ数時間後に起きる火災が多いです。特にご飯時より後の時間に起きることが多く、うっかりの消し忘れによる火災が増えている傾向にあります。

うっかりは誰にもありますが、怖いですね。コンロの火の消し忘れには私も気をつけたいと思います。では、年間の火災の件数はどれくらいあるのでしょうか？

平成26年度のデータで川崎市全体で381件、その内、川崎消防署管内で52件です。381件の内訳は、建物233件、車両38件、その他110件です。また、建物火災では全焼12件、半焼4件、部分63件、ぼや154件となっています。その他に含まれるのはゴミが燃える火災が多いです。河川敷のゴミなどの火災です。

建物の火災はぼやで済んでいるものが多いようですが、これはどうしてでしょうか？

そうですね。最近は難燃性の素材を使った焼けにくい建物が多くなつた事、通報が早くされる事、消防の出動が素早くできるようになった事、初期消火ができていいる事が多い、などの理由から大きな火災にならず早く消し止める事ができています。

多くの方の努力や協力で大きな火災にならずにすんでいるんですね。火災以外の出動にはどういったものがありますか？

救助の出動や災害の出動があります。救助の多い例としては、交通事故のはさまれの救助、一人暮らしのお年寄りの具合が悪くなり室内に閉じ込められ救助などです。

◆家庭での防災◆

防災に関して私たちが普段から家庭でできる事はありますか？

先ほどもお話しましたが、家庭での火災をふせぐ為には、コンロを離れるときは必ず火を消すことです。電話に出るときなど、ほんの少しの時間であっても火を消すように心がけてください。

また、調理をしていると調理台にいろんな物を置きがちですが、火を使うときはコンロの周りに燃えやすいものを置かないように注意してください。

よくわかりました。毎日の事ですので気を付けて調理したいと思えます。災害時の備えについてもお聞きしたいのですが、子どものいる家庭の非常持ち出し袋の中身を教えてください。

非常持ち出し袋の中身は最近ではインターネットなどで調べると簡単に見つかりますが、そういった一般的に準備したらよいものを参考に準備してあれば問題ありません。

小学生くらいであれば大人と同じような中



身で構いませんが、経験上、特にこれがあると便利だというものを教えします。

- ・歯ブラシ・・・非常時に歯を磨けないと不快で余計に気分が塞ぐため入れておくと良いです。
- ・くつ・・・可能であれば室内用のスリッパや上履きと外用の運動靴の両方を準備しておくベスト。災害時は足場が悪い場所を歩いたり避難所などに行く事もするため、履物は準備しておいたほうが良いです。
- ・ウェットティッシュ・・・手が洗えないときに使ったり体を拭いたり汚れを拭いたり何かと便利です。

水や食料についてはどうでしょうか？3日分用意すると良いと聞いたことがありますが、実際はどれくらい準備しておけばよいのでしょうか？

災害が起きてからでないといけない事もあり、実際に水や食品をどれくらい用意するかは難しい話です。実は最近1週間分用意した方がよいという話もあります。ですが、マンションなどでは備蓄する場所も限られてきますよね。

川崎市は水道管が耐震になっている所が多いので、市内での水の復旧は比較的早い見込みです。ですから、あまり心配して沢山用意されなくても、各ご家庭で準備できる分が良いと思います。

川崎市の水道管が耐震になっているのは聞いていたことがありました。水の復旧が早い見込みなのは安心ですね。水や食料は家庭に合わせた準備したいと思います。

私が大災害が起きたとき、一番心配しているのは、買い占めでスーパーなどから物が無くなる事です。

日本では、これまで災害が起きた中心地は比較的人が少ない田舎である事が多かったと思います。海外では、日本人は災害の時も秩序を守っていると絶賛される報道もされていましたが、人口の多い街で同じことが起きた時、果たして同じように人々が行動できるのでしょうか？

川崎市は人口が多い街です。被災している大変な時に、焦りからの買い占めにより物が無くなると更に焦りが生まれます。多くの人が居る場所では焦りがパニックや暴動に繋がる恐れがあります。

3・11の時は川崎は震度5でしたが一時期はスーパーの棚の物がかなり品薄でした。

そうですね。あの時も焦ってしまった人はいました。皆が最低限の買い物で買い占めをしないようにもう一度考えること、冷静になって行動すること、万が一の時に衝動的な行動を起こさない心積もりをしておいてください。

また、普段から地域の人と協力し、不安などを発生させない地域づくりをすることが大切です。

パニックを起こさない事は本当に大事だと思います。普段からいざという時に冷静な行動ができるように心がけたいと思います。では、子ども達が下校途中、登校途中などの大人が近くに居ない時間帯に災害が起きたらどうしたらいいのでしょうか？

普段から家族で何かあったときの避難場所を相談しておいてくださ

